

熊本県伝統工芸館 指定管理者 令和4年度（2022年度） 管理運営評価票

所管部課：観光戦略部販路拡大ビジネス課

I 施設の管理概要

指定管理者名	一般財団法人熊本県伝統工芸館	
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
施設概要	設置目的	本県の伝統的工芸品産業の振興及び発展を図る
	施設区分	伝統的工芸品等の展示・販売施設 名称：熊本県伝統工芸館 施設規模：敷地面積4,094㎡ 鉄筋コンクリート造（地上2階、地下1階）
指定管理料	78,000,000円	

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
年間入館者数	90,000人	84,079人	93.42%
販売売上	30,000千円	30,250千円	100.83%
【点検・調査結果及び評価】 入館者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により目標値には届かなかったが、昨年度実績値より31%増加している。 販売売上については、目標を達成することができた。 館内ショップやECサイト上での販売促進や、SNS等を活用した情報発信など、工芸館の認知度向上・販売力強化に取り組まれている。			

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	実施日		内容
清掃	(日常)	通年	仕様書及び事業計画のとおり実施
	(定期)	年1～3回	仕様書及び事業計画のとおり実施
保守・点検	(日常)	通年	仕様書及び事業計画のとおり実施
	(定期)	年2～6回	仕様書及び事業計画のとおり実施
保安・警備		適宜	仕様書及び事業計画のとおり実施
施設維持管理		適宜	仕様書及び事業計画のとおり実施
その他			
【点検・調査結果及び評価】 事業計画のとおり実施されており、適切な運営が行われている。			

② 運営事業実績

[主な事業・イベント]

事業・イベント名	開催日時	参加者数	内 容
常設展示室業務(常設展示室内での企画展示)			
花を飾る器 展	3/18~5/5	428人 (4/1~5/5)	城下町を彩る華道展のプレイベント。「花を飾る」をテーマに、花を生けるために作られた花器を展示紹介。展示されている工芸品の一部は華道展で花を生けて使用。
城下町を彩る華道展~くまもとの工芸と花の饗宴~	【前期】5/13~5/15【後期】5/20~5/22	1,089人	当館玄関の生け花展示にご協力をいただいている華道10流派の華展。館収蔵の工芸品を使用した生け花を展示することで、熊本県の工芸の魅力を発信する。熊本都市緑化フェアに会期を合わせることで、短期間の開催ながらも多くの来場者で賑わった。
第50回伝統工芸日本金工展 in 熊本	6/18~7/18	565人	共催：日本工芸会全国公募展で入選・入賞した作品や、人間国宝をはじめとする日本最高峰の金工作家の最新作を紹介。人間国宝の故・米光太平氏作品を中心に肥後象がんの展示コーナーを併設。
熊本県伝統工芸館開館40周年記念事業くまもとの いいモノ ほしいモノ 展	8/2~10/10	3,100人	熊本県伝統工芸館開館40周年の記念企画展。「消費者をやめて愛用者になろう」をテーマに、熊本県伝統的工芸品指定者を中心に県内工芸家に呼びかけ、使って欲しい一品を展示紹介。
くらしの工芸展 40年の歩み	10/25~1/9	1,475人	今年40回を迎える「くらしの工芸展」の40年の歩みを歴代グランプリ作品と館収蔵のくらしの工芸展出品作品を展示。これからの「くらしの工芸」を考える。
The Craftsman刀剣・人吉球磨刃物・高田焼・手漉き和紙	1/31~4/2	1,479人	(前年度より継続事業) 熊本県の伝統的工芸品アーカイブ事業の成果を基に、熊本県の工芸家を紹介する企画展。第4回は、松永源六郎氏(刀剣)、蓑毛裕氏(人吉球磨刃物)、上野浩之氏(高田焼)、金刺潤平氏(手漉き和紙)の4名を紹介。

企画展示室業務(1階展示室における企画展示会)

＜公募展＞			
第40回記念 暮らしの工芸展2022 ～消費者をやめて愛用者になろう～	11/1～11/6	1,330人	「消費者をやめて愛用者になろう」をテーマに県内外から暮らしを彩る生活工芸品を公募し、今回の特別賞「第40回記念賞」を含む入賞12作品・入選162作品を展示・販売。
＜企画展＞			
涼の工芸展	7/12～7/18	795人	工芸館友の会と共催。「涼」をテーマに、全国の工芸品を展示販売。
熊本県伝統工芸館40周年記念事業秋岡芳夫とグループモノ・モノが提唱する「低座の椅子と暮らしの道具」展同時開催：日野明子「暮らしの道具セレクション」	8/2～8/14	2,248人	熊本県伝統工芸館40周年記念企画展。秋岡芳夫が設立したグループモノ・モノのコンセプトを現代に引き継ぐ(有)モノ・モノと共同企画。氏の活動紹介を行うとともに、家具をはじめとする同社のオリジナル商品や新作の展示販売。また、秋岡芳夫の教え子で、作り手と売り手をつなぐ「ひとり問屋」の日野明子さんがセレクトした、手仕事の生活道具も展示販売。
熊本県伝統工芸館40周年記念事業「秋岡芳夫」展	8/2～8/14	1,031人	工芸館設立にあたり基本コンセプトや展示計画に携わった工業デザイナー故 秋岡芳夫(宇城市松橋町出身)が、どんな人でどんな活動や提案をしてきたのかを紹介。
熊本県伝統工芸館40周年記念事業「熊本県伝統工芸館40年の歩み」展	8/2～8/14	1,031人	工芸館の設立時に関わったさまざまな人々の想いと、館の40年間の歴史を資料展示。
暖の工芸展	2/14～2/19	627人	工芸館友の会と共催。「暖」をテーマに、全国の工芸品を展示販売。
＜産地育成等をテーマとした展示会＞			
くまもとい草工芸展	5/24～5/29	571人	熊本い草デザイン開発研究会有志による展示会。
上益城の工芸展	6/7～6/12	743人	上益城工芸協会による焼物・ガラス・染色作品などの展示販売会。
八代の工芸展	9/13～9/19	377人	八代の工芸家有志「結の会」5名による、い草縄・高田焼・木工・革工作品などの展示販売会。
熊本県文化協会クラフト部門展	10/18～10/23	1,232人	熊本県文化懇話会クラフト部門工芸家による作品展。
伝匠会展	12/6～12/11	659人	熊本県伝統的工芸品指定者の後継者によるグループ展。
天草陶磁器展(国指定伝統的工芸品)	2/28～3/5	1,332人	国指定伝統的工芸品である「天草陶磁器」の天草陶磁器振興会会員による陶磁器展。
あさぎり町てしごと展	3/28～4/2	656人	あさぎり町在住及びあさぎり町出身の工芸家によるグループ展。
＜その他展示(伝統的工芸品の普及啓発等をテーマとした展示会)＞			
肥後象がん展	(10/4～10/10)	—	主催の肥後象がん振興会の都合により開催中止。

【点検・調査結果及び評価】

今年度は新型コロナウイルスの影響による中止もなく、40周年記念事業展や県内産地育成を目的とした展示会など開催することができた。また、県内外の工芸家と連携したワークショップや講習会も行っており、事業計画通りに適正な運営が行われている。

3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
		開館日数	355日	358日
2階常設展示室	利用日数	238日	214日	111.2%
	入場者数	8136人	3368人	241.6%
1階展示室	利用可能日数	355日	358日	99.2%
	利用日数	312日	289日	108.0%
	利用率	87.9%	80.7%	108.9%
	入場者数	25522人	22473人	113.6%
工房	利用可能日数	304日	308日	98.7%
	利用日数	190日	97日	195.9%
	利用率	62.5%	31.5%	198.5%
	入場者数	2047人	922人	222.0%
1階ショップ匠	利用可能日数	304日	306日	99.3%
	購入者数	5777人	5077人	113.8%
2階展示室A	利用可能日数	355日	358日	99.2%
	利用日数	329日	336日	97.9%
	利用率	92.7%	93.9%	98.7%
	入場者数	16443人	13018人	126.3%
2階展示室B	利用可能日数	355日	358日	99.2%
	利用日数	320日	229日	139.7%
	利用率	90.1%	64.0%	140.9%
	入場者数	14110人	8776人	160.8%
2階会議室	利用可能日数	355日	358日	99.2%
	利用日数	4日	12日	33.3%
	利用率	1.1%	3.4%	33.6%
	入場者数	61人	192人	31.8%
和室	利用可能日数	355日	358日	99.2%
	利用日数	216日	170日	127.1%
	利用率	60.8%	47.5%	128.1%
	入場者数	8687人	6399人	135.8%
地下会議室	利用可能日数	355日	358日	99.2%
	利用日数	57日	84日	67.9%
	利用率	16.1%	23.5%	68.4%
	入場者数	3296人	3962人	83.2%

【点検・調査結果及び評価】
 会議室以外の利用者及び入場者数については共に前年度を上回った。また、入場者数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響下にあった2年前・前年に比べ1.3倍増加しているが、コロナ禍前の水準には達していない。

4 管理経費の収支状況

① 収入				
項目		内 訳	金額(円)	
利用料金収入	常設展示室	観覧料	923,450	
	各展示室・会議室	使用料	7,066,950	
指定管理料等		指定管理料+県事業受託分	80,280,000	
運営事業等収入		運営事業収入等	231,337	
販売手数料等収入		ショップ・ネットショップ販売手数料等	9,405,184	
雑収益等		事業復活支援金・事業復活おうえん給付金等	1,944,708	
合 計			99,851,629	
			収入未済額	0
			うち利用料金収入分	0

② 支出			
項 目		内 訳	金額(円)
事業費		人件費・消耗品費・光熱水費・展示室事業費・租税公課等	97,297,241
管理費		役員報酬・人件費等	2,569,879
合計			99,867,120

【点検・調査結果及び評価】
 収入については、工芸館全体の活動が活発になり、前年より増加した。
 また、支出についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響による展示会等の中止がなく事業を履行できたため、前年に比べ増加している。

5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	令和4年4月～令和5年3月											
	調査方法	アンケート調査（来場者）											
	調査対象数	53 件											
調査結果	調査分野	回 答 内 容											
		とてもよい	よ い	普 通	あまりよくない	悪 い	その他						
	職員対応状況	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
利用者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児も親子で体験できるモノづくりがしたい ・定期的に生演奏やドリンクのサービスがあると嬉しい ・親しみやすく丁寧な対応が良かった ・地方の伝統文化を県民に紹介することが一番の責務 												
	【調査結果及び評価】 アンケート調査の結果については、定期的に全職員で確認しており、対応等が必要な内容についても都度、協議検討し迅速な対応ができています。												

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改 善 状 況
特になし	
【調査結果及び評価】	

7 昨年度の評価で、改善を指摘した事項に対する対応

指 摘 事 項	改善内容・結果
なし	
【調査結果及び評価】	

8 その他

--